



国立病院機構

南九州病院

地域がん診療病院

日本医療機能評価機構認定病院

CONTENTS

巻頭 2024 年頭所感

.....1-3

HANKYU TOPIC 1 [管理課]

健康フェスタ 4

HANKYU TOPIC 2 [療育指導室]

クリスマス行事 4

HANKYU TOPIC 3 [栄養管理室]

お食事会のご紹介 5

HANKYU TOPIC 4 [経営企画室]

緩和ケアフォーラム開催 5

●外来診療案内 6

南九

MINAMI KYUSHU HOSPITAL

だより

2024 冬号

VOL.38

院是『病む人に学ぶ』

患者さんとともに、安全で良質な、
理想の医療の実現を目指します。

国立病院機構理念

国民一人ひとりの健康と、我が国の医療
の向上のために、たゆまぬ意識改革を行
い、健全な経営のもとに患者の目線に立
って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い
臨床研究、教育研修の推進につとめます。



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization

2024 年頭所感



院長
久保田 伊知郎

「目に見える資本」と「目に見えない資本」

皆さん明けましておめでとうございます。
今年もよろしく御願い致します。

2020年1月に国内初の新型コロナウ
イルス感染症患者が報告されてから4
年が経過しました。昨年5月、新型コロナ

ウイルス感染症は5類感染症に位置付けられ、感染者はまだかな
り出ていますが、致死率は0.22%（2023年10月報告）と減少してい
ます。若く健康な人にとっては、もはや危険な疾患とは言えないよ
うです。治療法の進歩やワクチン接種が大きな貢献をした結果と
思われます。

昨年、世の中がポストコロナに向かって進む中で、南九州病院
も大きな進歩がありました。まず4月から鹿児島大学病院の伊集
院綾子先生に赴任していただき、糖尿病内科の診療を開始してい
ます。5月には看護師特定行為研修（呼吸器関連：特定行為は気管
カニューレ交換）を開講しました。

また、8月から紹介受診重点医療機関となり、かかりつけ医の先
生方との連携・協力を強化しています。さらに、11月には念願の高
精度放射線治療センターが開設されました。多くの癌腫に対しピン
ポイントで高線量を照射でき、有効性が高く安全な治療が可能
となりました。ただ、昨年の収支状況は前年と比較して、かなり悪
化してしまいました。

職員の皆さんには以前お話したことがありますが、組織を運営
していくなかで、重要な資本が2つあります。「目に見える資本」と
「目に見えない資本」です。この収支状況は「目に見える資本」、つ
まりお金のことです。一方、「目に見えない資本」とは、病院の評判
が良い・病院が地域から信頼されているとか、ボランティアの方が
多く活動しているとか、職員の能力が高い（たとえば看護師特定行
為研修修了者や認定看護師が多いなど）、職員のモチベーション
が高くチームワークが良い、職員が優しく礼儀正しい、病院に活気
があるなどのことです。

この「目に見えない資本」は測定できませんが、病院を支える重
要な能力です。お金はすぐに消えますが「目に見えない資本」は、
一度手に入れるとすぐには消えません。しかし、簡単に手に入れる
ことは出来ないし、お金を出しても買えません。南九州病院として
は、経営を黒字にすることだけでなく、この「目に見えない資本」を
貯めていくことに力を入れています。仮に、経営状況が悪化して
も、この目に「見えない資本」が病院を支えてくれると思います。

南九州病院が、今後10年、20年以上と存続し成長するためには、
この「目に見えない資本」が重要であると考えています。ただ、
「目に見える資本」も病院運営上は不可欠です。今年は「目に見え
る資本」、「目に見えない資本」共に貯められるよう努力しましょう。
みなさんの御協力をよろしく御願います。





2024年頭所感



令和6年を実りある一年にするべく新たな第一歩を踏み出します

新年あけましておめでとうございます。皆さまには健やかに新年をお迎えのこと心よりお慶び申し上げます。年初にあたり、ご挨拶申し上げます。

南九州病院はこれまで呼吸器疾患医療、結核医療、小児慢性疾患、およびいわゆるセフティネット系医療である重症心身障害、神経難病を中心として地域の中核病院としての役割を担ってまいりました。加えて現在は緩和医療、循環器内科、消化器内科も充実し、今年度より糖尿病内科の診療も開始いたしました。更に昨年は高精度放射線治療装置も完備され、これまで遠方の医療機関に行かなければ受けることができなかった法制度放射線治療が始良霧島地区でも治療可能となり、また8月からは紹介受診重点医療機関に認定され、より高度な専門医療実践の責務を担いました。地域の医療のレベルアップに貢献すべく、今後も診療部を充実させるべく努力していきたいと考えています。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が第五類感染

症に変更され、世の中はコロナ禍による自粛生活から解放されつつあります。しかし、セフティネット医療を担っている当院ではこれまで通りの感染対策を行っている状況です。コロナ禍の体験からの教訓を生かしつつ、今年は徐々にでも通常の日常生活に戻れることを期待したいと思います。

当院の存在意義は上記の高度医療を実践していき、地域に愛され、貢献できる医療機関であることと思っています。令和6年を実りある一年にするべく新たな第一歩を踏み出します。職員一同、精一杯、精進、努力してまいりたいと思います。

最後に、皆さまにとりまして幸多い年になりますよう祈念しまして年頭のご挨拶といたします。どうぞ今年もあたたかいご支援とご助言を承りますよう心よりお願い申し上げます。



副院長
園田 至人

Nankyu EVOLUTION! ～進化し続ける南九州病院に～

令和6年。あけましておめでとうございます。今年もよろしく願います。さて、皆さんは新年の抱負・目標はたてましたか？

昨年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の位置づけが5類へ変更され、世の中は一気に交流の拡大へと舵を切りました。国立病院総合医学会をはじめとした学会や研究会などは対面で行われることも多くなり、院内でも少しずつですが家族面会の制限を一部解除したり、緩和ケア棟ではデイホールでのミニコンサートを再開するなどの試みもなされました。それらを通して得られる出会いや交流は新しい発見を生むこともあらためて気づかされたように思います。

さて、昨年の南九州病院は一步先へ進むために、久保田院長が掲げた病院目標「南九フィロソフィー2023」を旗印にしました。そして、それを実現するための戦略が「Nankyu EVOLUTION」です。EVOLUTIONとは「進化」「発展」を意味する単語で①新規事業の始動 ②教育・研究の推進 ③地域連携の強化という3つの基本戦略で構成されています。

①のひとつ「高精度放射線治療センターの開設」は約6か月の休止期間に放射線科医師、技師、看護師、事務局など多職種で構成するWGを立ち上げて綿密な準備を行った結果、11月からとても順調なスタートを切れているように思います。

「アフターコロナ共育病棟No.5」の設定は、院内から公募し

た「経営戦略アイディア」に寄せられた案をもとに、コロナ病床として使用していた5病棟をリハビリや教育を中心とした病棟に改変しようというものでした。睡眠時無呼吸のPSGに対応できるように特室をリフォームしたり、心大血管リハビリテーション料(Ⅰ)の施設基準をクリアするなどしてきていますが、まだ、十分な適応入院の確保には至っていないのが実情です。今年はいっとこれらの診療に必要な患者さん方に広く提供できるように周知啓発に力を入れなければならないと思っています。

そのほか、「クラウドファンディング」で資金調達して新事業を展開しようという試みや日常診療のなかでの気づきや小さな工夫からうみだされる「ものづくりプロジェクト」も進めようとしています。

②では、看護師特定行為研修センターの開設と臨床研究部の実働があげられます。研修センターの設置には看護部を中心としたメンバーが多大な尽力をされました。そして12月には第1期生の4人が修了式をむかえ、これから実臨床へはばたくことになりました。ご苦労された委員の皆さん、そして修了生のみなさん、本当におめでとうございます。臨床研究部は4半期ごとに業績を持ち寄ることをはじめましたが、今年



統括診療部長
東元 一晃

は本格的に当院ならではの臨床研究を多職種の視点で組み立てることができるよう始動したいと考えています。

③としては、「紹介重点医療機関」という当院の地域での位置づけを大きく転換する申請を行いました。経営企画室を中心に準備を行い、なんと鹿児島県でいちばん最初に指定された4医療機関のうちの1つとなることができました。これからどのように運用していくかが課題ですが、このことでより専門的な診療をよりスピーディーに患者さん方に届けることができるようになるはずです。そして明確な役割分担など地域の開業医の先生方との連携が非常に重要になるので、疾患ごとの地域連携パスなども作成しつつあります。

イオンタウン始良との連携で健康関連イベントもはじまりました。第一弾は「緩和ケアフォーラム」でしたが、次は2月に生活習慣病(健康日本21)の啓発イベントを開催予定です。

2024～さらなる飛躍の年に～

あけましておめでとうございます。

職員の皆さんにおかれましては、COVID-19感染症が五類となり初めての新年を迎え、少しは以前のような賑やかな一時を過ごされたのではないかと思います。

昨年は、看護師特定行為研修機関の指定及び開講、放射線治療機器更新に伴う高精度放射線治療センターの開設、糖尿病内科の新設、サービス棟新築工事の承認など、南九州病院の将来にとっても重要な1年でした。

経営面では、一昨年から取り組んでいるアフターコロナ対策、業務改善や経費削減等様々な対策を講じてきましたが、残念ながら収支状況は思わしくありません。経営状況等については、随時情報発信していますし、新年からあまり暗い話もしたくありませんので詳細は割愛いたしますが、どうにかこの危機を乗り越えなければなりません。

久保田院長が常々皆さん方に、『収支の黒字化は"目的"ではなく"手段"である。健全経営(黒字化)を実現し、職員の教育や人材育成並びに設備投資を行い、地域と共に病院が成長することが"目的"である。』というメッセージを発信されて

これらのことは地域に向けて発信することが求められます。そのため広報委員会を再編、再活性化し、そのなかに若手中心の情報発信チーム(広報WG)を設置することになりました。これまでの広報誌(本誌)に加えて、SNSなどでの発信もはじめており、迅速でタイムリーな情報をどんどん発信できるようにしていきます。

さて、去年はこれらのしくみをつくることができてきたので、今年一年でどのように運用し、活かしていくかは、職員の皆さんの心意気、そう『マインド』が大事になってきます。

「現状維持は即ち衰退を意味する!」そうです。2024年は職員全員の力を結集して、さらなる進化、発展を目指しましょう。今年一年、みなさんにとって、素晴らしい幸せな1年になりますように。

います。このメッセージを実現させるため、健全経営の実現のために、更なる"Nankyu Evolution"(東元統括診療部長発案)を進めてまいりますので、どうか皆さん方のお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

今年も、医師の増員を含め、CT装置の上位機種への更新、MRI装置のバージョンアップ、電子カルテの更新等々を計画しており、さらに南九州病院が飛躍するための土台づくりを進めようと考えています。

南九州病院はこんなもんじゃありません。もっともっと成長できる病院です。

"地域に愛される病院"をめざし"爆進"していきたいと思いますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、新しい年が、皆さんにとって実りの多い1年となりますよう、お祈り申し上げます。



事務部長
合戸 有介

ジェネラリストとして看護実践能力の向上に挑戦

新年あけましておめでとうございます。

猛威を振った新型コロナウイルスも5類へ移行し、4年間中止となっていた「いきいき健康祭り」も地域住民の皆様向けに開催することができました。コロナ前の生活や交流が戻りつつあります。

さらに、2023年度は、念願の看護師特定行為研修の指定研修機関の認定をうけ、5月から研修をスタートさせることができました。4名の看護師が第1期生として研修を受講し、研修終了後は「気管カニューレ交換」を実践していくことになります。年間1000件を超える気管カニューレ交換を特定看護師が実施することで、医師のタスクシフトだけではなく、看護の質を向上させ患者さんへ安心安全の提供できるようになります。ジェネラリストとして看護実

践能力の向上に挑戦し続け、また、その姿を後輩に伝授していくことで、質の高い看護の提供が継がれていくと信じています。今後も看護師の育成のためにも、特定行為看護師の輩出・育成を進めてまいります。

患者さんやご家族、地域の皆様に信頼され、安心して日々の生活をその人がその人らしく送ることができるよう、一層努力してまいります。

皆様にとって、幸多きよき一年になりますよう願っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



看護部長
三島 潤子

いきいき健康まつり開催



令和5年11月18日(土)に令和元年以来4年ぶりとなる「いきいき健康まつり」を開催しました。過去に実施していた地域住民の方の健康増進に資することを目的とした「健康フェスタ」と重心・筋ジス病棟の患者さんの療育向上を目的とした「秋まつり」を合わせて現在の名称となっていますが、今回は重心・筋ジス病棟の患者さんの感染症罹患リスクを考慮した結果、「秋まつり」部分を断念せざるを得ませんでした。しかし、今回の「いきいき健康まつり」は開始時の悪天候にも関わらず来場者数は320名以上となり前回開催時を上回りました。

実行委員を中心に各部門が趣向を凝らしたブースを展開し、行列ができるブースもありました。特に最新の放射線治療装置は多くの方が見学されていました。催し物についてはお招きしたきりしま吹奏楽団、野太刀自顕流研修会、蒲生郷太鼓坊主の方々が素晴らしい演奏、演武を披露いただき、会場を大いに盛り上げてくれました。ま

た、イベント開始から終了まで展示いただいた始良警察署、始良市消防本部の緊急車両は普段は触れる機会がないため子供から大人まで多くの方が乗車体験されていました。出店についても応募いただいた各キッチンカーで売り切れが続出し、全体として盛況のうちに終わることができました。

来年度以降についても地域住民の方に親しまれ、入院患者さんに楽しんでもらえる「いきいき健康まつり」を開催してまいります。



6病棟クリスマス会

6病棟では12月21日にクリスマス会を実施し、利用者さんによる、ピアノと鈴の「ジングルベル」演奏やスタッフによるジェスチャーゲームを行いました。「ジングルベル」演奏では、開始前に「緊張する」などの声も聞かれましたが、本番ではこれまでの練習以上に素敵な演奏を披露してくださいました。

ジェスチャーゲームでは、事前収録した映像を見て頂き、どんなお題なのかを利用者さんにあてていただきました。スタッフの個性あふれるジェスチャーに惑わされながらもなんとか正解を導きだすことができました。

そしてなんと声楽ボランティアの方に来ていただき、クリスマス＆お正月メドレーを披露していただきました。華やかな歌声は病棟中に響き渡り、なんだなんだ!と、つられて集まる利用者さんもうらっしゃいました。

最後にサンタさんとトナカイに扮したスタッフが登場し、クリスマスの挨拶をしました。クリスマス会終了後にはベッドサイドにも周り、「メリークリスマス!」と声かけをしながらプレゼントをお渡ししました。笑顔溢れる楽しいクリスマス会となりました。



NANKYU TOPIC 3

栄養管理室

筋ジス病棟 お食事会のご紹介

栄養士
草留 愛

当院の筋ジス病棟では、月に一度筋ジスのお食事会を実施しています。

毎月テーマを決め、患者さんへご希望のメニューを伺いながら咀嚼嚥下に配慮したお食事で提供しています。お食事会では料理やデザートを選択を行うこともあり、例えば、カフェメニューでは「ペペロンチーノ」と「デミグラスオムライス」のいずれかを選んでいただきました。また秋祭りメニューでは、普段の食事では提供することがない巻き寿司や、手作りモンブラン、南天の葉を飾るなどして提供しました。患者さんより「普段の食事っぽくなくていいね!」「巻き寿司が食べられてとっても嬉しい!」

「今度は手巻き寿司とかも食べてみたい!」など喜びや今後のお食事のご希望の声をいただきました。筋ジス病棟は、療養目的に入院している患者さんであるため、とても長い時間を当院で過ごされています。病院食は病気の治療を手助けする存在でもあります。それ以前に食べる楽しみの場でもあります。安心・安全な食事提供はもちろんですが、筋ジス病棟のように長い時間を当院で過ごされる患者さんにとって病院食は「日常の食事」です。お食事会もそうですが、毎日の食事が少しでもおいしく、ワクワクするような病院食を提供できるようこれからもお食事を充実させていきたいです。



NANKYU TOPIC 4

経営企画室

緩和ケアフォーラム開催

経営企画室長
松尾 俊宏



令和5年11月11日(土)12時から、イオンタウン始良において「令和5年度緩和ケアフォーラム～緩和ケアは生きること～」を開催しました。始良・伊佐保健医療圏の「地

域がん診療病院」として、地域の方々に緩和ケアについて理解をより深めていただくことを目的としてこのフォーラムを開催しました。多くの方々が足を止めて、医師、薬剤師、看護師と多職種に渡る講演に興味津々に耳を傾けられていました。用意していた椅子が足らなくなるほどの盛況の中フォーラムを終えることができました。今回のフォーラムを通して、地域の方々の医療のイベントに対する関心の高さを実感いたしました。令和6年2月にはイオンタウン始良で市民向けフォーラム第2弾として、「生活習慣病フォーラム(仮)」を計画しております。今後も地域の方々の“知りたい、話を聞きたい”というニーズに応えるべく情報発信して参ります。



外 来 診 療 案 内

2024年1月 現在

区 分	受付時間	科 目	月	火	水	木	金
成 人 外 来	8:30～11:00	呼吸器内科 (予約制)	(新) 是枝 快房		東元 一晃(第1・3・5) 八木 朋子(第2・4)	渡辺 正樹	上川路 和人
			(再) 上川路 和人	東元 一晃 八木 朋子 濱田 美奈子	渡辺 正樹 小園 智樹	東元 一晃 八木 朋子	東元 一晃
		アレルギー科					東元 一晃
		脳神経 内科	(新) 延原 康幸	尾山 琴海	徳田 真	園田 至人	今田 美南子
			(再) 園田 至人 今田 美南子	園田 至人	延原 康幸 (午後)園田 至人	園田 至人 尾山 琴海	園田 至人 徳田 真
		呼吸器 外科 (予約制)	(新) 久保田 伊知郎 吉本 健太郎			久保田 伊知郎 吉本 健太郎	
			(再) 久保田 伊知郎 吉本 健太郎			久保田 伊知郎 吉本 健太郎	
		消化器 内科	(新) 前田 拓郎	前田 拓郎	(胃カメラ/大腸カメラ)	(胃カメラ/大腸カメラ)	前田 拓郎
			(再) (胃カメラ/大腸カメラ) 前田 拓郎	前田 拓郎			前田 拓郎
		糖尿病内科	(新)	伊集院 綾子			伊集院 綾子
			(再)	伊集院 綾子		植村 和代 14:00～17:00	伊集院 綾子
		放射線科	(新)				
			(再)			西田 博利	
		放射線治療(予約制) 13:00～16:00	高江洌 伸	高江洌 伸	高江洌 伸	高江洌 伸	高江洌 伸
		循環器内科 (予約制)	(新) 西 晴香	宮内 孝浩		宮内 孝浩	西 晴香
			(再) 宮内 孝浩	西 晴香	宮内 孝浩	西 晴香	宮内 孝浩
		心筋シンチ	○	○	-	○	○
		健康管理手帳所持者に 対する健康診断	米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治	米倉 隆治
	10:00～13:00 緩和ケア棟:面談室	緩和ケア初診/相談 (予約制)	東元 一晃			東元 一晃	
	14:00～15:00	禁煙外来 (予約制)				是枝 快房	
	8:30～11:00	睡眠時無呼吸外来			○		
小児 外 来	9:30～11:00	小児科	岡本 真道		岡本 真道		岡本 真道
		腎臓外来 (予約制)					吉留 幸一
小児 神 経 外 来	9:30～11:00	アレルギー外来 (予約制)	岡本 真道				
	9:00～13:00	小児科 (予約制)		四俣 一幸 米衛 ちひろ 馬場 悠生		四俣 一幸 米衛 ちひろ 森山 瑞葵	
	14:00～16:00	小児科 (予約制)		四俣 一幸 米衛 ちひろ 馬場 悠生	四俣 一幸 馬場 悠生	四俣 一幸 米衛 ちひろ 森山 瑞葵	

※予約制となっている診療科にご紹介いただく場合は事前にご連絡をお願いいたします。(※急患の場合は、その旨電話でお伝えください。)

※セカンドオピニオン外来は完全予約制です。詳細は、当院のホームページ(<https://minamikyusyu.hosp.go.jp/>)をご覧ください。

※予約のご連絡は13時～16時の間にお願いいたします。また、診療に関するお問合せにつきましても、できるだけ13時～16時の間にお願いいたします。

※緩和ケア外来の予約は、がん相談支援センター(0995-62-3677)にお問い合わせください。 ※小児科への入院のご依頼の際は、お電話でご一報ください。

南九だより

2024冬号 Vol.38 2024年1月 発行

発行：独立行政法人国立病院機構 南九州病院 地域医療連携室 編集発行人：園田 至人
〒899-5293 鹿児島県始良市加治木町木田1882 TEL:0995-63-0843・FAX:0995-63-0840
地域医療連携室(直通) TEL:0995-63-0843・FAX:0995-63-0840

ホームページ <https://minamikyusyu.hosp.go.jp/>

